

めぐみイエス・キリスト教会

2024年9月22日(日) 第四主日礼拝

午前10時より

週報「通算第724号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

- 【前奏祈祷】
- 【賛美Ⅰ】 新聖歌236「あだに世をば過ごし」 p. 358
- 【交読文】 No.46 詩篇第148篇 p. 915
- 【賛美Ⅱ】 新聖歌468「やがて天にて」 p. 754
- 【使徒信条】
- 【主の祈り】
- 【前回説教】
- 【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「アバ・父よ」
- 【聖書朗読】 ルカの福音書6章43節～45節(新約p. 123上段)
- 【礼拝説教】 《良い木と悪い木》
- 【聖餐式】
- 【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄与」 p. 236
- 【平和祈り】
- 【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85
- 【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(ルカの福音書6章43節～45節)

6:43 「良い木が悪い実を結ぶことはなく、悪い木が良い実を結ぶこともありません。

6:44 木はそれぞれ、その実によって分かります。茨からいちじくを採ることはなく、野ばらからぶどうを摘むこともありません。

6:45 良い人は、その心の良い倉から良い物を出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を出します。人の口は、心に満ちていることを話すからです。」

●ポイント1.「良い木」と「悪い木」とは？

※ヨハネの福音書15章4節～5節「主はブドウの木」(新約p.215下段)

15:4「私にとどまりなさい。私もあなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、自分では実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたも私にとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。

15:5 私はぶどうの木、あなたがたは枝です。人が私にとどまり、私もその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。私を離れては、あなたがたは何もすることができないのです。」

※ガラテヤへの手紙2章4節「偽兄弟たち」(新約p.375下段)

2:4 忍び込んだ偽兄弟たちがいたのに、強いられるということはありませんでした。彼らは私たちを奴隷にしようとして、キリスト・イエスにあって私たちが持っている自由を狙って、忍び込んでいたのです。

●ポイント2.「実」とは？

※ガラテヤ人への手紙5章22節～25節「御霊の実」(新約p.382上段)

5:22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、

5:23 柔和、自制です。このようなものに反対する律法はありません。

5:24 キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、情欲や欲望と共に十字架につけたのです。

5:25 私たちは、御霊によって生きているのなら、御霊によって進むものではありませんか。

●ポイント3.「心に満ちていること」とは？

※箴言4章23節「あなたの心を見守れ」(旧約p.1097下段)

4:23 何を見張るよりも、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれから湧く。

◎先週の礼拝メッセージ【盲人と目のちりと目の梁】

《主イエスは、一つのたとえを話されました。「盲人が盲人を案内できるでしょうか。二人とも穴に落ち込まないでしょうか。」

これは、目の見えない人を、主イエスがあざ笑っているのではありません。主が言われている盲人とは、律法学者やパリサイ人たちのことです。彼らは、旧約聖書に通じていながら、霊的なことは何一つ、理解することが出来ませんでした。救い主イエスが、目の前におられるのにも関わらず、彼らの目は見えていなかったのです。

よって、このたとえの真意は、律法学者やパリサイ人は、自分たちの仲間を救いに導くことは出来ないと言うことであり、まさしく二人とも、底知れぬ穴、ゲヘナに落ちて行くことになると言われたのです。

そして、次に主イエスが言われたことは、「目のちり」と「目の梁」のことです。私たちは、人の欠点にはすぐ気づきます。人には、良い点や良い所がたくさんあるにも関わらず、どうしても、欠点や悪い所に目が行ってしまうものです。主は、相手の欠点を「目のちり」と言っています。そして、自分の方には、ちりではなく、目に太い梁が突き刺さっているとと言われるのです。

人は、自分の方が相手よりも欠点が少ないと思っているわけです。これは、まさに傲慢そのものです。実は、人は自分が思っている以上に欠点だらけの者なのです。「自分の目から梁を取り除きなさい」と、主が言われたことは、へりくだりなさいと言うことです。使徒パウロは、『何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。』と勧めています。

裁きあう所には愛はありません。しかし、赦しあう所には、まさしく愛があるのです。『「私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これが私の戒めです。」』と、主は十字架に掛かれる直前に、弟子たちに新しい戒めを与えられました。》

お知らせ

※次回は9月29日(日)第五主日礼拝は、特別メッセージとなります。